愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】多文化理解教育		
担当者(Instructors)	林 敏博	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

グローバル化と多文化化が並行して進む地球時代を迎え、多くの学校、保育園や幼稚園に外国の児童生徒や園児が在籍し、教室の国際化と多文化化が進んでいる。そのため、外国人の子どもたちと日本の子どもたちとの多文化共生の教育をどのように進めていけばよいのかを考えるため、世界の教育事情や先進的な取組事例を紹介しながら、多文化理解教育をすすめる上での諸課題について具体的に検討する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義、グループワーク、アクティビティ、プレゼンテーション、映像など多様な方法を用いながら行う。毎回、授業の終わりには振り返りシートを記入して提出する。最終回の授業では、グループで考えた多文化理解教育活動を発表する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	教室の国際化と多文化理解教育	教室の国際化や多文化化が進んでいる現状に目を向け、多文化理解教育の重要性を認識する。	□
第2回	海外子女教育・帰国子女教育	海外で学ぶ子どもたちの現状と課題を知り、帰国後に抱える問題について検討する。	□
第3回	外国人児童生徒教育	外国人児童生徒が抱えている制度の壁、言語の壁、心の壁の3つの壁に目を向ける。	□
第4回	日本語指導が必要な外国人児童生徒	愛知県は、日本語指導が必要な児童生徒の数が全国1位である現状を知り、その子どもたちが抱える苦悩に目を向ける。	□
第5回	ブラジル日系移民の歴史と多文化理解教育	1990年に入管法が改正され、多くの日系ブラジル人が来日してきたことから外国人児童生徒が増えてきた現状に目を向ける。	□
第6回	教室の国際化と多文化共生の学び	新学習指導要領を踏まえ、内なる国際化の中で多文化共生の学びをどうつくっていくと良いか検討する。	□
第7回	世界の多様な教育	世界の多様な教育方法を知り、その利点と課題を考えて日本の教育活動に活かせるところはないか検討する。	□
第8回	多文化共生ワークショップ	多文化共生のワークショップを通して、多文化理解教育の重要性を体得する。	□
第9回	SDGsと多文化理解教育	地球的課題解決に向けては、多文化共生の心の育成が求められており、そのための教育方法について検討する。	□
第10回	多文化理解教育実践	地球時代の学校・学級づくりについて先進的な取組事例から、具体的にどのような取組をしていくとよいか検討する。	□
第11回	大陸や国境を越えた教育活動	多文化理解教育実践として、大陸を越えて子どもたちが協働的に学び合う教育活動の可能性と課題を探る。	□
第12回	地域における多文化共生の取り組み	地域における多文化共生の取り組みを知り、そこには様々な課題があることに目を向ける。	□
第13回	地球時代の学校・学級づくり	地球時代の教育に求められる学校・学級づくりについてグループ協議を行い、今後の取組について検討する。	□
第14回	多文化理解教育の実践づくり１	自分たちが考えた多文化理解教育の学びの授業について、グループごとに発表する。	□
第15回	多文化理解教育の実践づくり２	自分たちが考えた多文化理解教育の学びの授業について、グループごとに発表する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

日頃から、教育にかかわる新聞記事や報道、インターネット情報に興味・関心をもち、教育や保育の現状と課題について認識を深める。（２時間程度） 授業で学んだことをきっかけに、配布されたテキストやテーマに関する文献を読んだり、情報収集を行なったりして主体的に課題を決めて学習を深め、課題レポートを作成する。（２時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎時間、授業後に提出する振り返りカードに書かれている質問や意見等にコメントし、全体にフィードバックする。課題レポートは最終日の授業の中で、全体で共有する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018子ども発達DP1	愛知県内の小学校、幼稚園、保育園には外国人の子どもたちがたくさん在籍しており、彼らが抱えている3つの壁について説明することができるか。
	◇ 2018子ども発達DP2	多文化共生とグローバルな視点から多文化理解教育の重要性について説明することができるか。
	◇ 2018子ども発達DP3	新学習指導要領が目指す教育について理解して、多文化共生の教育活動を行うことの重要性を認識し実践できるか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	30%	30%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回の課題に対する小レポート（振り返りレポートを含む）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業で適宜紹介します	
2		
3		
4		
5		